

新政クラブ



大塚 忠司

シニアの運転手を考慮した道路整備を

問 本市の65歳以上の運転免許の保有者は約6万人で、高齢化に伴い増加傾向にある。シニアドライバーには動体視力の低下が大きな不安要因であり、夜

個人番号制度の導入に伴う取り組みは

問 国の計画では、自治体のシステム整備は28年3月ごろまでとしており、危機管理に努めながら、新たな制度構築に対応する必要があるが、庁内体制の整備は。

答 個人番号制度は全ての個人法人等に固有の番号を付与し、国の行政機関や地方公共団体同士が情報の照会、提供を行うことが可能となり、市民の利便性が向上し

問の照明や標識類の改善などが必要と思うが考えは。

答 高齢社会の進展に伴い、これからの道路整備はシニアドライバーなど高齢者の視点も取り入れる必要がある。基準の改定など国の動向を注視し、認識しやすい路面表示の取り組み(県道神辺大門線) 標示など現状で改善が可能なものは警察等と連携し取り組む。



認識しやすい路面表示の取り組み(県道神辺大門線)

行政事務の効率化が図られるなどの効果があるが、個人番号を含む個人情報、特定個人情報としてより適正な取り組みが求められる。現在、関係22部署等で構成するワーキング部会で、事務の洗い出しや影響調査などに取り組んでおり、担当部署間の連携を図り、着実に対応する。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、5人の議員が一般質問(全員が一問一答方式を選択)を行い、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。



連石 武則 水曜会

増える空き家の対策は

問 20年の総務省の住宅・土地統計調査によると、本市の空き家の数は2万7970戸で、住宅総戸数に対する割合は14%である。空き家対策の現在までの取り組みと、今後のあり方は。

答 空き家の建物の危険性に関する苦情・相談が18年度から24

度まで47件、25年度は1月末現在24件あり、これら全てに是正指導を行い、これまでに30件の除却等が行われた。 今後は、空き家対策特別措置法が成立後、法律に基づく国の指針が定められると聞いており、本市としては、この指針を踏まえ、空き家等の活用も含め、対策計画を策定する予定である。また、計画を策定する中で、法と条例との関係を整理し、条例制定に取り組む。

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。

* 3月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → 録画放送はこちらから

→ 開催年：選択してください ▼ → 平成26年 → 平成26年第1回(3月)定例会